

基礎経済科学研究所 自由大学院

大阪第三学科(金融流通協同組合論ゼミ)からのたより

[第864回ゼミ報告] 2023年9月22日号

最近、天気予報でよく聞く単語「線状降水帯」。確かに予報通り集中・局地的に突然大雨が降ってくる。が、「豪雨」「暴風雨」のほうが直接的…

9月13日のゼミは、柄谷行人『力と交換様式』の第2部「世界史の構造と「力」」の第2章「封建制(ゲルマン)」を小野さんの報告で行いました。ヨーロッパを若返らせたのは氏族制度である。中世の農奴は階級として自からの解放を徐々に成し遂げた、未開性ゆえに、労働農奴制・家内農奴制に到達しなかったゆえに。ゲルマン人は共同体を一体化することで存在し、その共同体は連合体ではなく一体化として現れた。交換様式Aに根差す双務的な連合体であり、交換様式Bで統合されたアジア的共同体とは異なる。ゲルマン社会は交換様式Bでありながら、交換様式Aが色濃く残っている。帝国とは多民族を包摂する国家体制だか、東ローマ帝国はアジア的専制国家の一種になったのに対し、西ローマ帝国はゲルマンの首長制社会になった。ゲルマン社会は中世においてはゲマインシャフト(共同体)であり、近世以後にゲゼルシャフト(利益社会)へ移行した。ヨーロッパの都市は、都市国家・国家の都市でもない連合体である。アジアでは都市は国家に従属したが、ゲルマン社会では都市は国家から半ば自立していた。十字軍でイスラム圏と接触し、進んだ科学技術を知る。キリスト教がローマ帝国時代に国教となり、修道院が出現、都市から離れた場所に建てられた。それが同業組合へとつながる。討論では、封建制とはいつの時代か、専制国家の前か後か。アジアの専制国家とゲルマンを比較するのは、違いすぎるのでは。「奴隷制→封建制→資本主義」に対して、アジアでの専制国家と奴隷制、専制君主制。中国：周の時代から封建制・・ヨーロッパの農奴制、中国ではなかったか。世界の歴史はヨーロッパ中心主義。会場参加は小野さん・川口さん・山口さん・高田、オンライン参加は後藤さんの5名でした。

* 9月27日(第4週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 896 6525 4551 パスコード: 333239

* 次回9月27日ゼミで、斎藤幸平本が終了予定です。第4週ゼミは古典をテキストしてきました。次のテキストを募集します。再び『資本論』1巻から3巻へと行くのか、または『金融資本論』『帝国主義論』か。それとも他にテキスト、推薦・提案を募集!

***** ゼミ日程 *****

9月27日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

斎藤幸平『ゼロからの『資本論』』第6章 コミュニズム・・ 報告後藤さん

10月11日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

柄谷行人『力と交換様式』第2部3章 絶対王政・宗教改革 報告高田

10月25日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

テキスト未定

報告者未定

その後 11/8, 11/22, 12/13, 12/27 [アイクルの部屋] 2024/1/10, 1/24

◇第三学科事務局/高田好章: ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755

HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso